

校訓 『高く 大きく 美しく』

教育目標

「誇り高く 夢大きく 心豊かに よりよい社会を創ろうとする生徒の育成」

中村中学校 学校通信 2020.12.16

TEL 0880-34-4137 : NO.26 文責 松田

高知大学医学部附属病院小児科 臨床教授 脇口先生 来校

先日、高知大学の小児科特任教授の脇口先生に本校の授業の様子を見てもらい、様々なアドバイスをいただきました。その中の一つを先生の許可をもらっていますので、紹介いたします。

特性の理解と手立ての前の 子育ての基本

- 子育てにマニュアルはない、失敗したらやり直す、子育ては理論以上に生活
 - すぐに結果は出ない、本人がその気になるのを待つ（なるべく工夫）
 - 一つ一つの積み重ね
 - 一人で悩まない：家庭－教育－医療－行政のチームアプローチシステムの構築と特別支援教育の実施
 - 目を見て話す、聞く：子供の高さで、穏やかな表情で、皮肉を交えず、短い言葉で、良いタイミングで
 - プライドを育てる、プライドを大切に、ほめる、長所を探し認める
 - 簡潔にわかりやすく話す
 - 同じことを繰り返して学習（3歳までは特に一緒に）
 - 子供の失敗を注意するときには、まず「大丈夫？」
 - 子供が不安になるときは、先を示す、手立てを一緒に考える・教える
 - 「もっと楽しい？もっと良くなる？」豊かな経験が柔軟性、選択能力を育てる
 - 遊びを大切に→上手な人間関係、社会性
 - メディアリテラシー：テレビ、ビデオ、ゲーム、パソコン、携帯、漫画を合計1日2時間への勇気を、前頭前野の活性化を、運動、食事、体と頭を使う（家族でお手玉、声を出して本を読む等）、虫やきれいなものを見る、音楽
 - 心のSOSに気づき、迅速な対応を：朝起きにくい、不登校、鉛筆を噛む、心身症（頭痛、腹痛、見えにくい、抜毛）、落ち着かない、兄弟をいじめる、散髪をしない、掃除をしない、物を選ぶのに時間がかかる、夜間電気やテレビを消せない、食欲不振や過食、吃音、チック、遺尿・遺糞、過呼吸、不眠、宿題をてきぱきとしない、学力の低下、お気に入りのものを離せなくなる
- ×感情的に叱る→不安の強い子供に育つ
×一貫性のなさ→親への不信感
×虐待と過保護：世代間伝達の防止

新型コロナウイルス感染対策

現在、高知県下では新型コロナウイルス感染者が増えています。学校関係でも、児童・生徒の感染や保護者、教職員の感染などが報告されています。基本的な感染対策をおこなっていると、感染する割合が非常に下がるそうです。常にマスクをつけて、大声を出さない、手・指の消毒をおこなう、三密を避ける等……

また、先日配布文書でもお知らせしたように、「高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安のステージが「特別警戒（赤）」及び「非常事態（紫）」の場合には、「同居の家族に発熱等の風邪の症状がみられる者」については、出席停止としますので、各ご家庭での対応及び学校への連絡をお願いします。

校内でも体調不良者は、速やかに帰宅させる処置を取っております。各ご家庭でもご協力をお願いします。

